

平成26年度 学校評価 (年度末評価)

9 須坂東高等学校

本年度の重点目標	成果と課題
1. 授業の充実と学習習慣の確立。	<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題や考查前補習の実施により家庭学習や考查に向けた学習に取り組む環境を整えることができた。 ・様々な指導機会を設定し、多様な進路希望実現に向けた学習意欲の喚起を行うことができた。 ・授業アンケートを二度実施し、職員全体への結果のフィードバックにより授業や生徒への共通認識をもつ契機とすることができた。 ・常盤中学との授業交流として出前授業を実施し、中学生の授業の取り組みの様子について知ることができた。 ・早朝、放課後、長期休業中と補習を実施し、三学年では入試対策特別編成授業を実施したが、一般入試に対応できる学力を身につけるには低学年次からの取り組みが重要である。どのように取りませるか、教育課程等の見直しが課題である。 ・進路指導に関する保護者向けの情報提供の機会や方法について検討し、充実させることが必要である。 ・総合的な学習の時間について、熟考による進路選択ができるような三年間を見通した計画を検討する必要がある。
2. 身だしなみ指導、規範意識の向上といじめ防止等人権意識の向上。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題について、関係職員が情報を共有するように努めた。 ・問題行動について集会を利用して効果的に話ができた。また、「生活指導たより」を発行して効果的に啓発をした。 ・スマホの扱いについて、授業中使用した場合は一時預かりのルールを作り一定の効果があった。しかし、目の届かないところで使用している生徒も一部にみられる。 ・生活指導アンケートを基に面接週間を利用していじめの未然防止に努めることができた。 ・人権意識の向上について、生徒に向け発信できた。さらに深く生徒の心響かせていけるように講演会などを継続して行っていきたい。 ・身だしなみ指導について担任による温度差を感じた。担任だけに頼るのではなく、もっと職員全体で指導する雰囲気を作っていく必要がある。
3. クラブ・生徒会活動の充実。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの活動状況など地域や家庭などに広く伝わるような環境整備を模索する。 ・文化祭などで招待試合以外にも日頃のクラブ成果を発表する機会を作りたかった。 ・意欲的に校外での活動を展開していけるように努めたい。 ・今後も文教地区の特性を生かしながら積極的に生徒会活動を関わらせていきたい。 ・地道な日常活動の充実した活動支援を今後も続けていきたい。
4. 広報活動の充実。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校として「日滝の杜だより」を外部向けに4回、保護者向けに7回発行した。 ・オクレンジャーを活用し、緊急時のみならず各種行事に関わる家庭連絡に努めた。 ・学校説明会を公開授業の折に組み入れて中学生への情報提供をしてきた。 ・須坂市内の予備校へも情報提供を行い、併せて中学生の動向を調べてきた。

評価項目	評価の観点	不十分	やや不十分	普通	おおむね良い	良い	学校全体として改善点と向上策(係入力欄)
1-1 日々の授業の充実	a 授業開始時刻と終了時刻を厳守できたか。		23%	23%	45%	9%	初職員会で「確認事項」の読み合わせを行い、授業開始終了時刻厳守周知徹底を図る。
	b 授業アンケート等をもとに、生徒の学習意欲を喚起するべく授業改善に努めたか。		14%	50%	32%	5%	成績提示を10段階だけでなく5段階も行うことで学習意欲の喚起を図ったが、授業アンケートや授業見学を授業を客観的に捉える機会とし、さらなる充実を図る。

	評価の観点	不十分	やや不十分	普通	おおむね良い	良い	
1-2 学習習慣の確立と学習方法の習熟	a 週末課題を活用し、生徒の自主的な学習を促すことができたか。		10%	71%	14%	5%	週末課題は、学習習慣の確立と、自発的学習意欲の喚起につながるよう、課題の内容や分量について検証検討をし継続させる。
	b 補習など考査前の学習時間を保障し、学習環境を整えることができたか。		5%	59%	32%	5%	・対象者を指定した補習だけの実施ではなく、「考査前補習」の在り方を検討し各学年各教科の実情に合わせた学習環境整備を行う。 ・校外模試の事前事後指導を行うことで、進路選択への興味関心を高め、学習意欲喚起につながるようにする。
1-3 総合的な学習の時間を通じてのキャリア教育の充実	a 個々の進路意識を高める内容で実施することができたか。(1年)			70%	30%		様々な講演・講習・見学・補習等を実施し、幅広く進路についての知識を獲得することができたが、進学希望者向けの内容だけでなく、就職せざるを得ない生徒にも対応した取り組みについて検討する。
	b 進路希望別のガイダンスを実施し、進路先への興味・関心を深めることができたか。(2年)			67%	33%		志願理由書作成のための講演会を実施し、その後実際に書いて添削を受けるという指導を行い、進路先への考察を深められた。
	c 一人一人の社会的・職業的自立に向けて、表現力や文章力など個々の生徒に応じた力を伸ばすことができたか。(3年)		16%	58%	26%		進路先内定後の生徒に取り組みの消極性が見られる。卒業後の環境適応を見通した取り組み内容、方法について検討する。
	d 就業体験活動への参加を促すことができたか。			60%	40%		2年生の積極的参加があり、体験実施前後の指導も的確に行うことができた。
1-4 多様な生徒への対応	a 教育課程や学習指導体制、教材選択など様々な角度から、より良い教育のあり方を模索することができたか。			62%	33%	5%	・次年度より学習指導委員会を発足させ、教育課程の大幅な見直しをはかるとともに総合学習の在り方、教材、補習等について検討する。 ・保護者への進路に関する情報提供については、保護者のニーズをふまえた上で、機会・方法・内容を検討しながら、さらに充実を図る。
	b 多様な進路選択に対応するための手立てを講じたか。		10%	33%	57%		3学年においては、進路選択後の分野別学習会、補習等個別指導を充実させ、個々の生徒の進路希望に応じた指導が行われたが、早い時期からの取り組みについても検討する。
2-1 生徒の規範意識の向上	a 人権意識の向上やいじめ等のトラブル防止のために啓発できたか。また、諸問題を早期発見するために、面接週間を活用するなど日常的に生徒理解に努めることができたか。		10%	38%	48%	5%	・生徒の小さな行動の変化に注意して見逃さないよう心がけ、声掛けを多くする。 ・人権問題の啓発のため、「生活指導たより」に具体例を載せて啓発するとともに必要に応じて臨時学年集会などを行う
	b 交通安全や交通マナー向上の意識を啓発できたか。		18%	32%	45%	5%	・交通安全週間の立ち番を交通安全委員会を動かし計画したい。
	c 携帯・スマホの授業中の扱いについて適切に指導できたか。	9%	9%	36%	36%	9%	・廊下を巡視している職員が教室に入って指導できるようにするなどルールの改善をおこない、職員全体で指導する雰囲気を作る。

	評価の観点	不十分	やや不十分	普通	おおむね良い	良い	
2-2 身だしなみの改善	a 本年度身だしなみの重点項目(サンダル、ピアス、等)を中心に、身だしなみについて日常的に指導できたか。	5%	18%	50%	23%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・担任任せ、係任せでなく職員全体として取り組むよう機会あるごとに職員会で確認する。 ・頭髪指導について、指導に乗らない場合には厳しい指導を考えていく。
2-3 清掃の徹底と、環境・衛生面の向上	a 清掃の徹底を図り、美化に努めることができたか。		45%	36%	9%	9%	全生徒、全職員で清掃にあたり、生徒にはもう1度清掃活動の意味や役割を意識させ、限られた時間の中で徹底できるような方法を探っていきたい。
	b 校内環境に気を配り、改善できたか。	5%	23%	41%	27%	5%	行事前に校内を見回り、担当クラスへ連絡するあらたな取り組みは効果があったので、継続していきたい。
3-1 クラブ活動の充実	a クラブへの加入を積極的に促すことができたか。		5%	82%	14%		<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ説明会を更に工夫して多くの新入部員が入るよう努力していきたい。
	b クラブ活動の充実に努めることができたか。	5%	14%	45%	36%		
	c 部室、使用施設の適正な使用を促せたか。	5%	9%	59%	27%		定期的な部室監査を行うことによって部室、使用施設の適正な使用を促せた。
3-2 生徒会活動の充実	a 日常の委員会活動や対外的な活動、ボランティア活動等を通して、生徒会活動の充実をはかることができたか。		5%	57%	33%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎周辺整備事業では多くのクラブの生徒が率先して活動に参加してもらった。 ・今後も各委員会で活動を充実させるための支援を行っていきたい。 ・全校生徒に岩波講座や須坂市クリスマスレクチャーなどの対外的活動参加を積極的に呼びかけていきたい。
4-1 広報活動の充実	a 学校・学年・クラス等、それぞれの立場から地域や保護者への情報発信ができたか。		9%	45%	41%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・オグレンジャーや学級通信の充実を図り、情報発信に努める。 ・HPのデザイン変更と情報発信の即時性への対応を検討する。 ・近隣中学校との交流、予備校との連携など、中学生に向けた新たな情報発信の場を開拓するよう努める。 ・